



サイバー空間をめぐる脅威の情勢

危険

警察庁より、「**令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢**」が公表されました！

令和4年中には、大規模総合病院が**ランサムウェア**の被害に遭い、診察等の業務が一時停止するなど、大きなニュースとなりました。

そのほか、**インターネットバンキングに係る不正送金被害**が下半期に急増するなど、サイバー空間をめぐる脅威は極めて深刻な情勢が続いています。



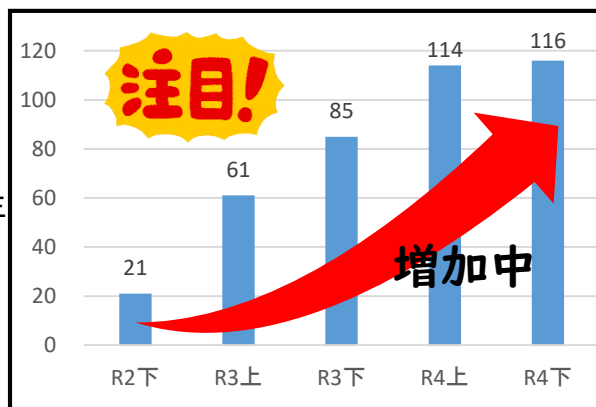
①ランサムウェアの感染被害が拡大

〔情勢〕

- ・ 令和2年下半期以降、右肩上がり増加中
- ・ VPN機器等からの侵入が多数
- ・ 企業・団体等の規模や業種を問わず広範に発生
- ・ 復旧に2か月以上の期間や5,000万円以上を要した被害も発生

〔対策〕

- ・ 機器等の脆弱性対策(パッチ等の適用)
- ・ バックアップデータをオフラインで保管



[ランサムウェアの被害の報告件数]

②インターネットバンキングに係る不正送金事案が増加

〔情勢〕

- ・ 発生件数、被害額が前年より増加
- ・ 被害の多くがフィッシングによるものとみられる

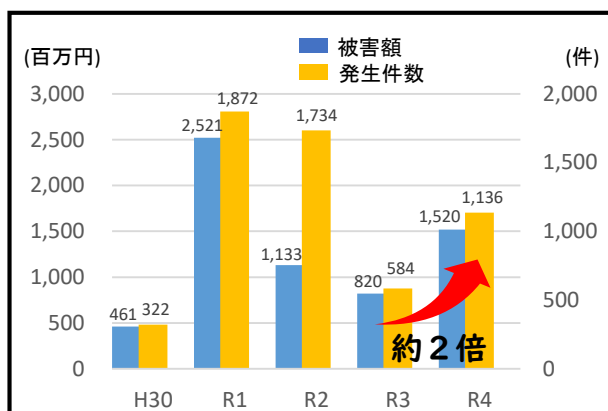
〔対策(個人向け)〕

- ・ OS、ソフトウェア等の更新
- ・ ワンタイムパスワード等の活用
- ・ メール等のリンクは安易にクリックしない

〔対策(企業向け)〕

- ・ DMARC(※)の導入

※ なりすましメール対策技術



[インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数・被害額]

③我が国に対するサイバー攻撃が相次いで判明

北朝鮮のサイバー攻撃グループによる国内の暗号資産関連事業者に対するサイバー攻撃や学術関係者・シンクタンク研究員等に対する標的型メールによるサイバー攻撃が発生

